

2019年
か ぜ ひ か

風光れ

人権のたより 第11号 3月13日発行

三重県立津東高等学校



梅の花が満開となりました。学年末考査も終わり、クラスの解散の時期が近づいてきました。今年一年を振り返り、皆さんのクラスづくり、仲間づくりはどのように進展したでしょうか？年度末のこの機会に、是非これまでを振り返り、次の一年の展望をしてみましょう。

私は元来他人との付き合い方が下手で、学生時代も含み今まで、友人もあまり多くありませんでした。

この年齢になって、昔を振り返ることが多くあるのですが、こんな私でも、辛い時、苦しい時、今思うと、誰かが必ず手を差し伸べてくれていたなあと実感しています（その時には気づいていないことが多かったのですが…）。意図的ではなく単なる偶然であったかもしれませんが、しかし、話を聴いてくれる人、一緒になって考えてくれる人、「どう？」って、たった一言の声掛けと笑顔で私のすべてを包み込んでくれた人、その人たちのおかげで今の私があると言っても言い過ぎではないと思っています。

こんな私ですが、さて私はこれまで誰かの話をしっかりと聴いてきただろうか、生き辛さを共有することができたであろうか、私がそうしてもらったように、私も誰かにしてきただろうか… 反省することしきりです…。

4月からどのような一年にしましょうか？

新たなクラスづくり、仲間づくりの取組において、単なる興味関心や楽しいことを共有するという関係だけでなく、お互いをよく理解し、「つらいことやしんどいことを共有する関係」とでも言いましょうか、そう、つらいことや苦しいこと、生き辛さを共有し、そして支えあう関係、共に乗り越える関係も、あなたのこれからのあり方として考え、実践してみたいかがでしょうか。

「なりたい自分に自分を変える」「ありたい姿に自分を近づける」
…

次の一年、皆さんお一人おひとりそれぞれの生き方、あり方をさらに深められ、充実した時間にしていただくことをお祈りして、私のこの一年の締めくくりとします。

ありがとうございました。

係 辻村 大智



「風光れ」このたよりが、少しでも「自分を見つめる」手助けになってくれれば幸いです。心から感謝します。